目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念を掲げているものの、具体的な目標設定までに至っておらず、チームとしてケアの方向性にばらつきがみられる。ここで再度チームで話し合い、具体的なケア目標の設定が必要。	事業所の理念をより具体的に掘り下げ、介護理念を作り上げる。	①チームで話し合い事業所の理念の意味を考え掘り下げる(日々のカンファレンスの時間を利用し2ヶ月で検討) ②事業所の理念と、運営方針8項目から清風の介護理念を作り上げる。 ③作り上げた介護理念を開示し、意識してケアに当たる。	12ヶ月
2	35	年2回の避難訓練実施は行っているが、地域の消防団との連携が不十分。また、災害マニュアルが完成しておらず、今後あらゆる災害について話し合い、マニュアル作成し、定期的な訓練を行なう必要あり。	地震・風水害・火災のマニュアルを作り、スタッフで周知徹底を図る。災害を想定した訓練を定期的に行う。また、必要な備品を検討し備える。	①スタッフで話し合いを行ない、地域でどのような災害が起こりえるか、十分に話し合い検討する。 ②情報をまとめ災害対策について話し合い、マニュアル作成する。 ③作成したマニュアルをもとに訓練を行ない、実際に行動できるようにする。 ④地域の消防団と情報交換を図り、連携を深める。	12ヶ月
3	33	看取り希望のご利用者があるが、ホームとしての準備が十分ではない現状。	やがてくる看取りに備え、態勢を整える。	①看取りの研修に積極的に参加し、学びを深めるとともに、他のスタッフに伝達する。また、チームの看取りで出来る事、出来ないといけない事をみんなで話し合う。 ②カンファレンスで看取りに際し、職員の不安を話し合い、対応策を考えていく。	12ヶ月
4	26	記録にプランの評価、アセスメントが十分に出来ていない現状。記録が事実の羅列にとどまっている。職員の気づきや、ケアを実施し、利用者のはんこのうはどうだったのか、評価・アセスメント能力の向上が課題。	日々の記録を充実させ、プランに反映させる。	①記録の書き方や方法、アセスメント・評価について勉強会を行い、記録の書き方を学ぶ(3ヶ月) ②記録に気づきやアセスメントを記入するよう意識づける。(3ヵ月) ③記録内容がプランに反映できるよう、自分の担当の利用者のプランをケアマネジャーと一緒に検討する。(6ヶ月)	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。